

サンライズレース 創刊70周年記念 スポニチ金杯特選競走

1/27(日) 28(月) 29(火) 30(水) 31(木) 2/1(金) 2(土)

●第1レース・スタート展示 8:32 第4レース・第7レースは進入固定レース

シリーズリーダー 8



3406 (A1・群馬・50歳) 中里 英夫 3484 (A1・兵庫・47歳) 芝田 浩治 3606 (A1・滋賀・47歳) 川北 浩貴 3743 (A1・徳島・44歳) 林 美憲 3849 (A1・香川・41歳) 中岡 正彦 4137 (A1・滋賀・38歳) 君島 秀三 4237 (A1・山口・35歳) 大峯 豊 4350 (B2・福岡・32歳) 篠崎 元志

“B2級”の篠崎元が地力で圧倒！ 芝田、川北ら遠征勢も好調揃い

今期はB2級とまさにゼロからの再出発となつた篠崎元志(福岡)。ケガによる休養から5ヵ月ぶりの実戦となつた昨秋の蒲郡ダービーでは、いきなりの大舞台で優出2着と底力を見せつけた。カドおりなら今回は圧倒的に1強モードだが、出場回数が制限される身だけに、勝負所でのスタートが鍵を握る。

しかも、遠征勢はなかなかの実力者揃いだ。一般戦では1着を量産して優出を重ねる芝田浩治(兵庫)と川北浩貴(滋賀)、当地V3の実績を誇る林美憲(徳島)と中岡正彦(香川)、昨年5月の当地優勝を含めて前期V3と波に乗る大峯豊(山口)と好調選手が並び。

まさかの降級で作間が奮起！

11月尼崎で節間に4連勝を2度マークして優勝した君島秀三(滋賀)と、1年ぶりにA1級にカムバックした中里英夫(群馬)の両者も当地はV2実績を持つ水面巧者。同じくA1級返り咲きを果たした岡本猛(大阪)、荻野裕介(東京)、谷川祐一(滋賀)らの勢いも侮れない。まさかの降級となつた作間章(東京)の巻き返しにも当然警戒が必要だ。

つねに6点前後の勝率は残す田中和也(大阪)や深川和仁(香川)も上位との差は僅か。地元のリ岡右貴(福岡)も優勝歴あり優出も多い当地なら得意の速攻で見せ場を作る。

アシ夢の万舟券チェック

4661 中島 昂章 (B1・佐賀・27歳) 前期は勝率が5点を割ってしまったが、大敗は少なく2、3着が多め。特にアウト戦の捲り差しからの舟券絡みは高配当になった。 全国最近2節成績 18年12月 下関 一般競走 ④⑥④②②④④④③④④③ 18年11月 江戸川 一般競走 ②④③⑤②③③②③① 芦屋前回成績 18年 9月 一般競走 ③④③③②②

出 場 | 予 | 定 | 選 | 手 |

(全国6ヵ月: 2018年6月6日~12月5日 / 芦屋3年: 2015年12月6日~2018年12月5日。 ■は福岡支部選手)

Table with columns: 登録番号, 選手名, 級別, 支部, 年齢, 全国6ヵ月 (勝率, 3連率, 平均ST), (1着時決まり手回数) (逃げ, 捲り, 勢乱, 差し, 抜き), 芦屋3年 (勝率, 3連率, 平均ST), ワンポイントチェック

●病気などにより出場メンバーが変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。